

山梨県中小企業団体中央会 機関誌

# 中小企業組合NAVI

やまなしの中小企業と組合の羅針盤



**特集**

## 第77回中小企業団体 全国大会in広島

P2~3 【特集】...第77回中小企業団体全国大会in広島

P4~5 【景況】...データから見た業界の動き(10月)

P6~8 【取材記事】...組合活動あれこれ▶山梨県電気工事工業組合、山梨県味噌醤油工業協同組合、  
山梨県パン協同組合、南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館、  
甲州市管工事協同組合  
オピニオン▶石和温泉旅館協同組合

P9~10 【情報/取材記事】...情報BOX  
組合活動あれこれ▶(一社)山梨県情報通信業協会  
取材記事▶事務連絡協議会、中央会女性部会

P11~12 【情報】...情報BOX

読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

発行所

山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田 2-2-1 中小企業会館 4階 / TEL 055(237)3215 / FAX 055(237)3216  
<https://www.chuokai-yamanashi.or.jp> / e-mail [webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp](mailto:webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp)





# 第77回中小企業団体全国大会 広島で盛大に開催

山梨県から12名が参加、  
欽明事業協同組合 根津宏次理事長が「組合功労者」として栄誉の受賞

令和7年11月12日(水)広島県広島市の「広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)」において、第77回中小企業団体全国大会が全国から約2,100名を集め盛大に開催された。本大会は全国中小企業団体中央会および広島県中小企業団体中央会が共催するもので、中小企業組合運営の強化、地域経済の活性化、組合相互の連携促進を目的とした年に一度の全國規模の大会である。山梨県からは中央会役職員および組合関係者12名が参加



し、全国の動向を共有しながら、県内組合の今後の方向性を考える有意義な機会となった。

本年度大会のスローガンは「つながる ひろげる 連携の架け橋～夢を語ってはしゃぎん祭！轟轟(GoGo)と突き進め～」。物価高騰、人手不足、円安、災害リスクの増大など、中小企業を取り巻く環境がかつてないほど変化する中、組合が果たすべき役割の重要性と、地域企業の連携を象徴する言葉として掲げられた。

開会式に続き、広島県中小企業団体中央会伊藤學人会長が議長に選任され、議事を進行した。議案の説明、審議が会場全体で行われ、全国の中小企業組合の総意として政策提言をまとめた「大会決議」が採択された。



## ■本大会で採択された主な決議内容

今年の大会決議は、全国各地の組合・中小企業が抱える課題を踏まえ、国・自治体へ求める政策を体系的に整理した内容となっている。大きく以下の3分野にまとめられた。

### 経営環境変化への対応、成長促進支援の拡充

01

- ・物価高騰、人手不足、エネルギー・原材料費の上昇など、事業継続に影響を与える課題への支援強化
- ・設備投資、新事業展開への補助制度の一層の充実
- ・中小企業組合制度の活用促進と、中央会の支援体制・予算の拡充
- ・地域経済を支える共同事業・ネットワーク形成の広域推進

### 労働・雇用・社会保険料に関する環境整備

02

- ・最低賃金制度の適切な運用や地域差の考慮を含めた制度検討
- ・外国人材の受け入れに関する制度移行(技能実習→育成就労)の円滑化
- ・働き方改革や社会保険制度における中小企業の負担軽減
- ・人材確保・定着に向けた教育・訓練体制の強化

### 中小企業の事業活動を支える環境整備

03

- ・中小企業向け金融支援の強化、税制の拡充
- ・中小製造業・サービス業の持続的成長を支える支援施策の充実
- ・GX・省エネ対策等、環境対応投資への支援拡大
- ・商店街・卸小売業の活性化策、官公需機会の確保と拡大

## ■大会宣言(略)

中小企業・小規模事業者の経営は、度重なる自然災害等の発生、国際情勢の混迷、エネルギー・原材料価格の高騰や人件費増加に直面する一方、十分に価格転嫁が進まない中、さらに、人手不足や防衛的賃上げに苦しむなど、極めて厳しい経営状況が続いている。その状況から一刻も早く脱却し、中小企業組合が持続的に成長・発展できるよう、国等に対し、迅速かつ手厚い中小企業経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- ・コスト上昇の価格転嫁を迅速かつ完全に促進する経営環境の整備
- ・事業承継並びにスタートアップ支援策の拡充・強化
- ・人材の確保・育成と生産性向上による持続可能な成長支援の拡充
- ・災害に強い地域づくりと自然災害等からの速やかな復旧・復興支援の強化
- ・地域中小企業の実情を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- ・中小企業組合等連携組織対策の大幅な拡充

これらの決議事項は、全国の組合関係者が直面する実情から導き出されたものであり、大会を通じて政策実現に向けた強固な体制を整える機会となった。

山梨県からの参加者は、議事への出席に加え、全国の中央会や組合関係者との情報交換を積極的に行った。会場内では、広島県の組合による取り組みや共同事業の紹介が行われ、DXを活用した受発注管理の効率化、地域ブランド力を高める販路開拓、異業種連携による新商品開発など、多岐にわたる事例が共有された。

参加者からは「自分たちの組合運営に取り入れたいヒントが多かった」、「全国の組合とのつながりから新たな可能性が見えた」などの意見があり、県内組合運営の改善に向けた学びが得られた。特に、組合の将来を担う若手人材育成の取り組みや、共同事業に関するアイデアが多く示され、実務に直結する内容となった。



### ■欽明事業協同組合 根津宏次理事長が「組合功労者」として表彰

式典では、山梨県から「欽明事業協同組合 根津宏次理事長」が組合功労者として表彰された。根津理事長は、長年にわたり組合の事業運営、組合員の経営支援、地域との連携強化に尽力してきた。組合内の合意形成を丁寧に進め、持続的な組合運営の基盤を築いたこと、地域資源を活かした共同事業に積極的に取り組んできた点などが高く評価されたものである。



### ■中央会としての今後の展望

本大会は、山梨県内の組合にとって、全国の最新動向を把握し、今後の組合運営に生かす重要な機会となった。広島での大会は「決議を受けた行動の起点」として、山梨県の中小企業組合にとって大きな意味を持つイベントとなった。県内各組合が組合活動に反映させ、「連携の架け橋」として地域と共に歩む姿勢をさらに磨いていくことが期待される。

次回、第78回中小企業全国大会は令和8年11月19日(木)、熊本県熊本市での開催が予定されており、山梨県としても全国との交流を深め、地域を支える組合の役割を強化していく。

### ■全国大会2日目以降の山口県視察

大会翌日の11月13日(木)と14日(金)には、山口県の視察(萩・長門・山口市)が実施された。これは、地域資源の活用による観光振興やまちづくりの事例を学ぶことを目的に企画されたもので、参加者から高い評価を得た。

#### 萩城跡・萩八景遊覧船

萩市では萩城跡周辺を散策し、堀内地区や城下町の景観を船上から楽しむ「萩八景遊覧船」に乗船した。世界文化遺産に登録された城下町の街並み、白壁の佇まい、松並木が続く情緒ある景観を眺めながら、地域資源を守り活用する観光まちづくりの取り組みを学んだ。参加者からは「地域の歴史と観光がつながった好事例」「地域住民と行政の協力体制の大切さを感じた」との声があがった。



#### 元乃隅神社(長門市)

長門市の絶景スポット「元乃隅神社」を訪問。123基の赤い鳥居が並ぶ風景は圧巻で、地域観光の強力なブランド化に成功した好例として参加者の関心を集めめた。地元ガイドの説明を通じて、SNS発信が観光促進につながった経緯や、地域住民の協力体制が紹介され、組合による地域活性化のヒントとなった。



元乃隅神社(長門市)

#### 瑠璃光寺五重塔(山口市)

視察の最後には、日本三名塔の一つに数えられる「瑠璃光寺五重塔」を見学した。歴史的建造物を核とした観光資源の磨き上げ、周辺地域との回遊性向上の取り組みなど、歴史文化を活かした地方創生モデルを学ぶことができた。



瑠璃光寺五重塔(山口市)

令和7年  
10月

データから見た

# 業界の動き

## 10月報告のポイント

製造業・非製造業ともにすべてのD.I値が低下  
最低賃金引上げを控え、賃上げ原資や収益の確保に苦慮

### 概況

10月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で  
売上高 ▲20ポイント【18ポイント↓】  
収益状況 ▲22ポイント【26ポイント↓】  
景況感 ▲20ポイント【8ポイント↓】  
となり、すべてのD.I値が前年同月を下回った。

※【 】内は前年同月  
との比較です



担当:河野

#### 製造業では…

売上高 ▲30ポイント【25ポイント↓】 収益状況 ▲25ポイント【25ポイント↓】 景況感 ▲35ポイント【5ポイント↓】

すべてのD.I値が低下し、「季節要因によるアイスクリームの伸び悩みを含め総じて低調に推移（菓子製造業）」「一部では売上の回復が見られるものの、全体としては低迷（骨材・石工品等製造業）」「半導体業界全体では低迷が続き先行きの見通しも厳しい（電気機械器具製造業）」「地金（金・プラチナ）の価格が落ち着かない限り改善は見込めない（貴金属・宝石製品製造業）」など、製造業全体で売上高・景況感悪化の報告が目立った。

収益状況について、「9月より商品単価の値上げを行った（パン・菓子製造業）」「一部地域で今年度20%程度の値上げを実施した（骨材・石工品等製造業）」など一部の業種で価格転嫁に進展が見られた。一方で、物価高騰による家計負担の増加によって消費者の節約志向が強まっており、「一部商品の価格改定を予定していたが需要減少を招く懼れがあるため当面見送る方針（菓子製造業）」を例に、生活必需品以外の分野では需要減退を懸念して値上げを断念する報告があった。

#### 非製造業では…

売上高 ▲13ポイント【13ポイント↓】 収益状況 ▲20ポイント【27ポイント↓】 景況感 ▲10ポイント【10ポイント↓】

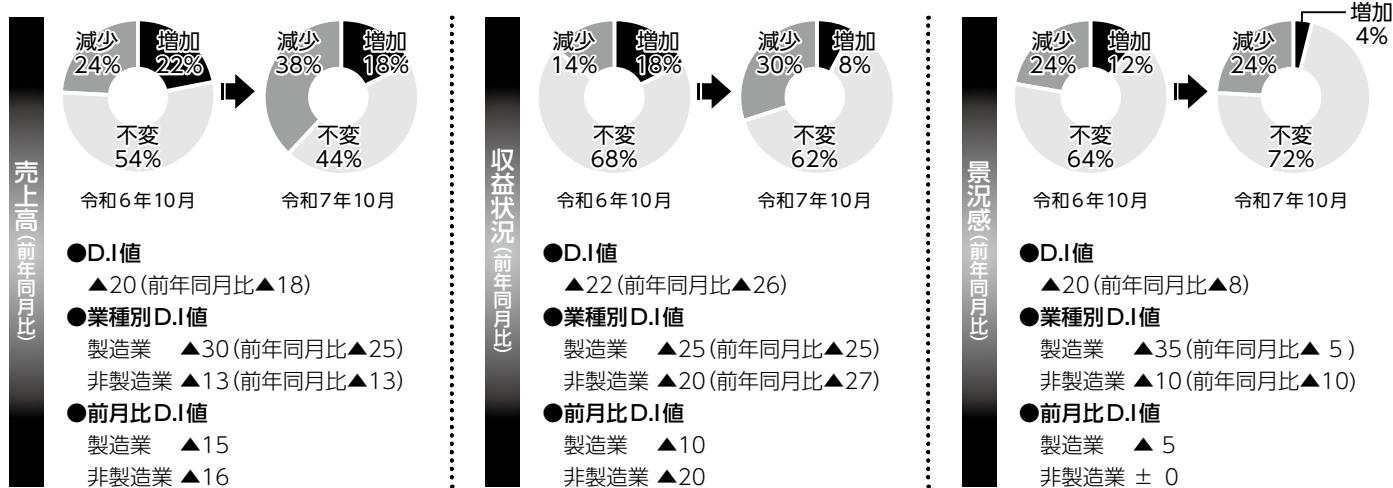
「労務単価に見合う金額での契約ができず価格転嫁の進展はわずかにとどまる（警備業）」「時間外労働規制への対応コストを運賃に十分に転嫁できていない（道路貨物運送業）」など、業種を問わず人件費をはじめとしたコスト上昇分の転嫁が進んでいない。また「宿泊費への転嫁に加え、コスト構造の見直しや業務効率化、省力化の取り組みも不可欠（宿泊業）」を例に、事業者は引き続き収益確保の方策を模索している。

小売業では「消費者の節約志向が強い（鮮魚小売業）」「夏場以降は季節商品が低迷（電気機械器具小売業）」と個人消費の低迷に苦慮、建設業や運送業でも工事量や稼働率の減少が目立ち、非製造業全体で売上が減少し、景況感も悪化した。

12月31日に廃止が決定したガソリン旧暫定税率について、運送業界では燃料費低下による収益改善及び業界景況の好転に期待する一方、ガソリンスタンドでは在庫や小売価格への反映に細心の注意を払い、仕入れや在庫調整に慎重な対応を続けている。

12月から山梨県の最低賃金が1,052円 (+64円) に引き上げられるが、「給与や待遇の良い他社へ人材が流出する傾向があるが、待遇改善に充てる収益を確保できない（廃棄物処理業）」を例に、多くの事業者が人材確保の観点から賃上げの必要性を認識しているものの、原資確保に苦慮しており、国や県等による支援を求める声が多く聞かれた。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています。お気軽にご相談ください。



$$*((\text{良数値} \div \text{対象数}) \times 100) - ((\text{悪数値} \div \text{対象数}) \times 100) = \text{D.I値}$$

## 業界からのその他のコメント

### ● 製造業

食料品(水産物加工業)	前年同月と比べ売上は121.1%と増加した。全体的に売上は安定しており、秋以降の贈答需要に向けた商品展開が奏功しギフト関連が堅調であったほか、炊き込みご飯の素やおつまみ類など手頃な価格帯の商品も好調で売上を押し上げた。また、季節商品であるおせち料理の事前注文は、夏の早期予約が低調であったものの10月以降は回復傾向にあり、順調に受注が進んでいる。
食料品(洋菓子製造業)	前年同月と比べ売上は92.3%となった。季節要因によるアイスクリームの伸び悩みを含め、総じて低調に推移した。チョコレートや卵など原材料価格の高騰が続くなか11月より一部商品の価格改定を予定していたが、消費者物価が上昇している状況下での菓子類の値上げは需要減少を招く恐れがあるため価格転嫁は当面見送る方針である。
食料品(パン・菓子製造業)	前年同月と比べ売上は▲10%となった。原材料や包材の高騰により利益確保が難しくなったことから、9月より商品単価の値上げを行った。
食料品(酒類製造業)	酒類離れが進み長期的には販売数量の増加は見通せない状況である。全体として生産量の減少が見込まれるもの、今年は天候に恵まれ品質の良いブドウが収穫できることから、上質なワインの生産が可能となり、販売数量の改善が期待される。
織維・同製品(織物)①	前年同月と比べ景況感は▲20%となった。物価高騰や燃料価格の高止まり、水道光熱費の値上げによる家計負担の増加が、消費活動における節約志向を強めている。
織維・同製品(織物)②	織物文化を多くの人に知ってもらい、街の賑わいを創出することを目的としたイベント「ハタオリマチフェスティバル」が10月に開催され、県内外から多くの方が富士吉田市を訪れた。このイベントは、地域の織物文化を再評価し新しい製品開発やブランドティングに取り組むもので、織物産業の活性化や産地の認知度向上にもつながるため、今後も継続して実施することが重要である。
窯業・土石(砂利)	峡南地域を中心に今年度20%程度の値上げを実施した。一部では売上の回復が見られるものの、全体としては低迷している。また、物価上昇や設備老朽化への対応など支出も多く、収益改善にはつながっていない。今後は工事量の増加に期待するとともに、さらなる骨材価格の適正化を目指したい。
窯業・土石(山碎石)	前年同月と比べ売上は12%増加した。売上は順調に推移しているものの、頭打ちの様子が見られる。収益確保には人件費や燃料費等の高騰に見合った段階的な値上げなど検討の余地がある。
一般機器(業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上は▲20%、景況感は▲18%となった。一部の業種では回復の兆しが表れ始めているものの、物価高騰などの影響もあり、依然として先行きを不安視している。
電気機器(電気機械部品加工業)	前年同月と比べ売上は▲15%、景況感は▲20%となった。半導体業界全体では低迷が続き、先行きの見通しも厳しく、来年以降も回復は難しいとの声が多い。一方、一部の組合員からはAI関連や防衛関連が高水準で推移しているとの報告があり、業種により景況感に大きな差が見られる。
宝飾(貴金属)	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲80%となった。地金(金・プラチナ)の価格が落ち着かない限り改善は見込めない。

### ● 非製造業

卸売(ジュエリー)	地金の高騰が続き史上最高値で推移している中、材料安の時期に仕入れた旧在庫は在庫量・金額ともに減少している。地金価格が下がる要素が少ないので、現状の価格で在庫を補充しており、製品原価は30%ほど上昇している。一方で、富裕層による資産価値目的の地金製品の購買率上昇によって売上も増加しているが、利益率は低下している。また、年末商戦に向けた需要も減少傾向である。
小売(青果)	前年同月と比べ売上は▲7%、収益状況は▲10%となった。野菜は暑さの影響で出荷量が減少し、市場価格は高値で推移した。果物は暑さと小雨の影響で全般的に小玉傾向となった。
小売(水産物)	値上げは落ち着いてきたものの消費者の節約志向が強く、消費活動に慎重さが見られる。
小売(電気機械器具小売業)	前年同月と比べ売上は▲3%、景況感は▲5%となった。夏場以降は季節商品が低迷しており、県内の家電小売業界全体で厳しい状況が続いている。この背景には、家電製品のネット市場の拡大があると考えられる。
小売(ガソリン)	旧暫定税率について、ガソリンは12月31日、軽油は2026年4月1日に廃止することが与野党6党で合意された。併せて、市場の混乱を避けるため、現行のガソリン補助金を段階的に引き上げることも合意された。しかし、補助金は元売会社に交付されるものであり、販売会社(組合員)には流通在庫の問題も残されているため、旧暫定税率廃止まで仕入れや在庫調整に慎重を期す必要がある。
商店街	物価高騰の影響で来街者数が減少、個店の売上は悪化し、前年同月と比べ売上は82%、収益状況は83%となった。加えて、大月駅周辺に有料駐車場が乱立している影響で組合が運営する駐車場の利用者も減少している。
宿泊業	インバウンド需要が好調で、秋の行楽シーズンやスポーツ・文化系イベントの開催もあり、国内旅行客や団体客が増加した。人材確保、物価高騰に加え人件費の上昇が課題であり、今後は宿泊費への転嫁だけでなくコスト構造の見直しや業務効率化、省力化といった取り組みも不可欠である。
一般廃棄物処理	求人を出しても応募がほとんどなく、人材確保が困難な状況にある。給与や待遇の良い他社へ人材が流出する傾向があり、待遇改善に充てるだけの収益も確保できないことから事業継続の見通しは厳しい。
警備業	公共工事関係の受注が増加傾向にあり、前年同月と比べ売上は3%増加した。一方で、労務単価に見合う金額での契約ができるおらず、価格転嫁の進捗はわずかにとどまっている。人材面では、警備員の高齢化が進み健康上の理由による退職者が増加しており、新規採用希望者は少ない状況にある。
自動車整備業	車検台数について、普通車16,134台(昨年同月+306台)、軽自動車12,489台(昨年同月+973台)となった。 ※集計の都合上、9月末数値 これからの時期は、タイヤ脱落事故が増える傾向であるため、ホイル、ボルト・ナットの鏽や損傷、決められたトルクで取り付けられているか確認しましょう。
建設業(総合)	10月の県内公共工事は前年同月比で件数は4.8%増加したが、請負金額は▲6.5%となった。10月末累計では、件数は▲3.9%、請負金額は▲0.1%となった。
建設業(型枠)	前年同月と比べ売上は▲10%、景況感は▲20%となった。民間工事・公共工事ともに不調が目立ち、着工予定の工事遅れや仕事量の減少により先行きへの不安を抱える組合員が多い。一方で、材料費の高止まりや人件費の高騰で請負単価を下げることはできない。
建設業(鉄構)	前年同月と比べ売上は▲7%、景況感は▲6%となった。鉄骨ファブリケーターの仕事量が全体的に少なく、供給過多により価格が下落していた。しかし、値下げしても需要増加にはつながらず、結果として値上げすることになった。今後も鋼材は若干の値上げが見込まれる。
建設業(管設備)	前年同月と比べ景況感は▲19.2%となった。新設住宅着工件数の伸び悩みにより、設備工事が減少している。
運輸(軽貨物)	今後、ガソリン税の暫定税率廃止(12月31日)、軽油引取税の暫定税率廃止(2026年4月1日)により業界の景況が好転するところが期待される。
運輸(バス)	前年同月と比べ売上・景況感ともに▲10%となり、秋のトップシーズンにもかかわらず稼働状況は低調であった。また、ドライバー不足が引き続き課題となっている。
運輸(トラック)	夏の繁忙期が過ぎ、年末に向けて荷動きは落ち着いている。時間外労働規制への対応は各社で進められているものの、そのコストを十分に運賃に転嫁できおらず、景況感の改善は見られない。



担当:神山

## 山梨県最年少(9歳)の電気工事士誕生、組合で表彰

山梨県電気工事工業組合



理事長から表彰を受ける武田さん

8月に実施された令和7年度前期・第二種電気工事士試験の合格発表において、甲斐市在住の小学4年生、武田盛歳さん（発表時9歳）が合格し、山梨県知事名の免状が交付された。これにより、武田さんは正式に第二種電気工事士となった。

本県の電気工事士免状の発行を所管する山梨県庁消防保安課が、記録の残る昭和36年までさかのぼり調査したところ、「過去に16歳（高校1年生）の合格者はいたが、9歳での合格は県内最少年齢になるのではないか」との見解が示された。

組合では、今回の武田さんの挑戦と成果は今後容易に更新されることのない記録であり、その努力と合格は、同年代の子どもたちの電気工事士資格への関心を高め、電気工事業界のイメージ向上に寄与するものと受け止めている。こうした観点から、11月16日に組合会館において表彰式を執り行った。

武田さんは、試験を目指した理由として、「おばあちゃん

の家の電灯が壊れて困っていたため、自分で直してあげたいと思ったこと。電気工事には資格が必要だと知り、試験に挑戦した」と語る。

学習方法は「過去10年分の問題を繰り返し解いて勉強した」とのこと、実技試験では「大人用の圧着ペンチでスリーブをかしめる作業が大変だった」と振り返った。将来は「電気にかかわる仕事に就きたい」と、夢を語った。

表彰式では、金丸理事長が「第二種電気工事士試験の合格率は大人でも6割程度と決して易しくない。その試験に9歳で合格したことは業界にとって大きな驚きであり、非常に喜ばしい。電気は生活に欠かせないエネルギーであり、今後ますます重要性が高まる分野である。電気に関する資格は多く存在するため、今後もぜひ幅広く挑戦してほしい」とエールを送った。



武田さんとご両親、組合役員と記念撮影

## 美肌湧泉～地域の湯と心で磨く温泉郷の未来～

### 石和温泉旅館協同組合



- 代表理事…古屋 公士
- 所在地…笛吹市石和町市部 822-43
- 業種…宿泊業
- 設立…昭和42年1月



担当:鈴木

山梨県笛吹市の石和温泉郷は、開湯から六十余年を数える県内屈指の温泉地です。私たち石和温泉旅館協同組合は、32社の旅館が加盟し、「地域全体でおもてなしをつくる」を理念に、温泉郷全体の魅力向上と観光振興に取り組んでいます。

組合では、四季折々の自然や地域の特産を生かした観光イベントを通じて、新しい温泉体験を提供しています。「螢鑑賞ナイトツアー」や「釀造堂遺跡博物館ナイトツアー」など、石和ならではの風土と文化を融合させた催しは、多くの観光客に好評をいただいている。中心街の「石和源泉足湯ひろば」では、宿泊者や地元住民が交流を深める縁日やまち歩きイベントなどを開催し、温泉街全体の賑わいづくりに寄与しています。

また、誰もが安心して温泉を楽しめるよう、ユニバーサルツーリズムの推進にも力を注いでいます。高齢者や障がいのある方、子ども連れの家族など、あらゆる世代が快適に過ごせるよう、段差の少ない施設改修や多目的トイレの整備、バリアフリー宿泊の情報発信などを進めています。誰にとっても心地よく過ごせる温泉地を目指し、組合全体で環境整備を重ねています。

こうした地域の思いを一つにまとめる象徴的な言

葉として、石和温泉旅館協同組合では笛吹市と連携し、温泉郷の新しい合言葉を「美肌湧泉（びはだゆうせん）」と定めました。石和の湯は、肌にやさしく、心まで潤す“美肌の湯”として知られています。「その恵みを、若者や親子、カップルなど、世代を超えた多くの方々に楽しんでいただきたい」と願いを込めた言葉です。湯けむりに包まれながら、笑顔が咲く温泉郷でありたい。この想いをより多くの方へ届けるため、2025年11月26日（水）「イイ風呂の日」にマスコミ向け発表を行いました。これを新たなスタートとし、石和温泉の魅力を全国へ向けてさらに発信していきます。

「美肌湧泉」を合言葉に、私たちは温泉と人の温もりが調和する地域の価値を磨き、石和温泉郷が世代を超えて愛される温泉地であり続けるよう、これからも力を尽くします。

美肌湧泉  
ISAWA ONSEN for Silky Skin

石和温泉郷統一ロゴ「美肌湧泉」  
一湯けむりの先に、笑顔が咲くー



担当: 笠井

## 発酵の魅力を五感で体験! ～甲州みそと醤油の学びと体験イベント～

山梨県味噌醤油工業協同組合（理事長：武田信彦／組合員10社）は、発酵文化を楽しく学び味わう取組みとして、10月から11月にかけて山梨県立図書館の図書カフェで「美味しい学ぼう～糀vs麹～」を開催した。10月1日の「醤油の日」、毎月30日の「みその日」、そして11月30日の「いいみそ・甲州みその日」に合わせた、同組合として初の連続企画である。

会場となった図書カフェには、昔の味噌樽や大福帳、蔵元の看板、懐かしい一升瓶の醤油、各社の法被などが展示され、来場者はまるで古い蔵に入り込んだかのような雰囲気の中で、味噌と醤油



の歩みを学んだ。体験プログラムも充実しており、小・中学生を対象にした「クイズや味比べ、麹菌の観察、小学生限定の「簡単みそづくり体験」を実施した。参加者からは「自分で作った味噌を食べた

い」「こうじ菌の仕組みがよく分かった」との声が寄せられ、五感で楽しめる企画として好評を得た。また発酵食品を使ったスイーツも提供され人気を集めた。醤油については、大人向けの専門セミナーを行い、より深い学びの場を設けた。

11月30日には、河口湖「旅の駅」で「いいみそ・甲州みその日」PRイベントを初開催した。米麹と麦麹を合わせて仕込む全国でも珍しい「甲州みそ」を使用し、山梨県製麺協同組合と連携して郷土料理「甲州みそほうとう」を無料提供したほか、来場者が楽しめる「甲州みそすくい」も実施し、大好評となった。味噌と麺による地元タッグがブランド価値を高め、多くの来場者がその味わいを楽しんだ。

運営に関わった同組合青年部は「発酵の魅力と甲州みその伝統を多くの人に知っていただけた。今後もこうじの力で山梨の食の魅力を発信したい」と述べており、今後の展開にも期待を寄せられている。



## 学生のひらめき×職人の技が生んだ“山梨の新名物”

### ～最優秀賞『すりだね香るカレーパン』！11月16日「県民の日」イベントで初披露～

山梨県パン協同組合（小野曜理事長／組合員11名）と山梨学院短期大学食物栄養科が連携し、パン業界の人手不足を背景に、次世代の人材育成と地域食文化の継承を目的としたプロジェクトが進められてきたが、その最終章として、8月下旬に山梨県産小麦「かいほのか」を使った新商品コンテストが開催され、学生の発想と職人の技が融合する“リアルな人材育成の場”が誕生した。第1回コンテストには、2年生18名が5班に分かれて参加し、県産食材をテーマに、「甲州みそ」や「せいじのたまじ」など地元の味を生かした創作パンが並んだ。その中で最優秀賞に輝いたのが「すりだね香るカレーパン」。山梨のソウルフード“すりだね



審査風景

をアクセントに、県産小麦「かいほのか」のもちもちとした生地で地元野菜と特製カレーを包み、香ばしい風味が食欲をそそる

仕上がりとなった。学生の柔軟なアイデアを組合加盟の職人が試作と改良を重ね、見事に商品化を実現した。

この取り組みは「人材育成」「製造技術の伝承」「地域ブランドの創出」という三つの柱を掲げ、単なる商品開発にとどまらない取り組みである。学生は開発から製造・販売までの流れを体験し、職人の技を間近で学んだ。一方、プロ側にとっても、若い感性に触れることで新たな刺激となり、業界活性化の契機ともなっている。学生は「自分たちの考えた味が商品になるなんて夢のよう」と語り、組合関係者も「若い力が未来をつくる」と期待を寄せている。

11月16日(日)の「県民の日」イベント（小瀬スポーツ公園）で初披露され、揚げたての「すりだね香るカレーパン」が提供された。今後は組合員の店舗で順次販売が予定されており、山梨発の新名物として広がりが期待されている。



販売の様子



担当: 笠井

## ほたるみ館で「収穫祭」を開催 ～地域の皆さんに日ごろの感謝を込めて～



南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館（川崎芳博 理事長／組合員146名）は、11月22日に南アルプス市から管理・運営を受託している「アヤメの里活性化施設・ほたるみ館」において収穫祭を開催した。収穫祭は小笠原長清太鼓の力強い演奏で幕を開け、会場には地域で生産された旬の新鮮野菜をはじめ、焼きたてのよもぎ饅頭、豚汁、もつ煮、焼きそばのほか組合の看板商品である手作りジャムなど多くの商品が並んだ。また、餅つき大会や丼揚げ大会といった催しも行われ、秋晴れの空の下、富士山と棚田を一望できる芝生広場には多くの来場者が訪れ賑わいを見せた。

川崎理事長は、「行政をはじめ地元の様々な方々に

協力をいただき心から感謝している。今後は、ほうとう作り体験など、地域の子



小笠原長清太鼓の演奏

どもや観光客に向けた体験教室を積極的に開催し、地域の食文化の継承にも力を入れていく。また、まちの駅についても新規イベントの企画や品揃えの充実を図り、地域に密着した直売所としての機能を強化していく。これからも組合員一丸となって多くのお客様に笑顔を届けていきたい。」と今後の抱負を述べた。



ほたるみ館は、平成16年に旧櫛形町地区の住民により設立され、地元農産物を主原料とした加工品の製造・販売を通じて地産地消の推進に取組んでいる。組合員が生産した野菜や加工品は、同じく組合が運営する直売所「まちの駅くしがた」で低価格で販売されているほか、周辺の道の駅（富士川・白根など）でも取り扱われている。

- アヤメの里活性化施設・ほたるみ館  
山梨県南アルプス市平岡1210-1 ☎ 055-284-7180
- まちの駅くしがた  
山梨県南アルプス市小笠原1284-4 ☎ 055-283-7766

## 持続可能な経営を目指して ～工事原価管理を学ぶ研修会を実施～



甲州市内で水道工事等を行う事業者で組織する甲州市管工事協同組合（青沼久理事長／組合員6社）は11月4日、建設業法改正への対応と適正価格での受注体制づくりを目的に、中小企業診断士のいばら木正史氏を講師に迎え「管工事事業者のための工事原価管理～持続可能な経営基盤の確立～」をテーマとした研修会を実施した。

建設業は地域の安全・安心を支える重要な産業だが、近年は人材不足や資材高騰により、特に小規模事業者の経営環境が厳しくなっている。令和6年6月の建設業法改正では処遇改善や取引適正化を目的として、材料費・労務費の内訳明示（努力義務）や原価割れ受注の禁止が盛り込まれ、発注者・受注者双方に、より一層の適正価格の確保が求められることとなった。

研修では、まず今回の法改正の背景と趣旨を確認したうえで、公共建設工事積算基準を基に工事原価算出の考え方を学んだ。資材や現場作業員の人工費などの直接費のみならず共通仮設費や現場管理費、一般管理費などの共通費（間接費）の構成、見積・進捗・実績管理を通じた原価管理の進め方を体系的に学習した。さらに、発注者提示価格と自社原価の比較による利益確保の判断方法、追加・

変更工事の証跡管理、PDCAサイクルによる原価改善、ICT・DXを活用した原価の「見える化」の実践事例なども紹介された。

研修を終え、青沼理事長は「持続可能な経営を続けていくためには、目に見えやすい直接費のみならず間接費をしっかりと見積に反映させ受注していく必要がある。また、賃上げが続く昨今では価格転嫁も重要となるため、発注者側に対し積算根拠をしっかりと示しながら発注価格に反映してもらう努力が求められる。」と、今回の研修の意義を述べた。

今回の研修を通じ、組合員は法改正の理解を深めるとともに、原価算出力と価格交渉力の向上を図り、地域インフラを支える持続可能な経営基盤の強化に繋げていく。



講師を務めた  
いばら木  
中小企業診断士



真剣に話を聞く組合員

## 中小企業生産性向上等支援

## 専門家派遣 のぞ案内



全国的に賃上げの動きが進む中、山梨県の最低賃金も令和7年12月1日から1,052円へ引き上げられました。本事業では、県内の中小企業および中小企業組合を対象に、経営改善や生産性向上の取組を支援します。具体的には、労働力をはじめとする経営基盤を強化して継続的に事業を行う為の原資確保を後押しするため専門家を派遣、コンサルティング支援や県が実施する生産性向上支援策の紹介等を行います。

まずはお気軽に担当指導員までご相談ください。

## 01 支援内容

生産性向上など経営課題に対する助言・情報提供

- (例) ・業務フローの可視化による業務改善
- ・デジタルツール導入で事務を自動化
- ・原価計算に基づく価格転嫁の推進
- ・行政による各種支援施策の紹介 など

## 02 対象となる企業・団体等

山梨県内の中小・小規模事業者・組合等

## 03 派遣回数

原則 1 回 (希望によって専門家が必要と認める場合は、3回まで派遣することができます)

## 04 事業期間

令和8年2月末日まで

## 05 費用

無料 



●お問い合わせはこちら●

山梨県中小企業団体中央会 連携組織課 Tel.055-237-3215 Fax.055-237-3216

## 中小企業組合等が行う“DX”の可能性を学ぶ



## 山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

組合等事務局の資質向上を目的とした研修事業と会員相互の親睦交流を中心に事業を展開する山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(有賀裕之会長／35会員)では、11月18日に視察研修を実施し、会員15名が参加した。本研修は、深刻化する人手不足や賃上げ、さらには顧客ニーズの多様化に対応するうえで不可欠となる生産性向上や業務効率化について、組合等がどのように取り組むべきかを学び、それを組合員等に普及していくことを目的として開催した。

視察先は、「kintone (キントーン)」などの業務改善アプリを多く開発・提供するサイボウズ株式会社東京オフィス。同社はノーコードによるシステム構築を強みとし、専門的なプログラミング知識がなくても業務アプリが作成できる点が中小企業や組合等にとって導入しやすいメリットくなっている。当日は、同社の多様な働き方を体感する「オフィ



サイボウズ(株)での講演会

スツア」に加え、ノーコードツールの特性やkintoneの活用事例、kintoneの導入により組合業務のどの部分で効率化が期待できるかなど、サイボウズ㈱の深澤修一郎氏から具体的

な講演が行われた。質疑応答では、組合員や共同事業の管理、行政手続きの効率化など、参加者が抱える実務上の課題について活発な意見交換がなされ、DX導入に向けた可能性とイメージを深める機会となった。

そのほか、本年10月に高市首相とトランプ大統領の会談が行われたことでも注目を集めた迎賓館赤坂離宮への観光も行った。参加者は日本と西洋を融合した荘厳な建築美や、日本文化が随所に施された装飾に見入っていた。その後、新丸ビルにも立ち寄り、それぞれ東京土産の購入などを楽しんだ。

視察研修を終え、有賀会長は「人手不足や賃上げ対応など、組合や組合員には一層の生産性向上が求められている。サイボウズ株式会社の働き方やDXツールの活用を学ぶことで、組合業務や組合員等の今後のDX推進に向けた有意義な視察となった」と、今回の視察研修の成果を述べた。

●kintoneによる組合のDXについて相談をご希望の場合は、[marugoto@cybozu.co.jp](mailto:marugoto@cybozu.co.jp)までお問い合わせください。



迎賓館赤坂離宮での記念撮影



担当:宮川

## ものづくりとICTの最先端が集結 ～山梨テクノICTメッセ2025が開催～

(社)山梨県情報通信業協会

県内最大の“ものづくり”と“情報通信”的展示会「山梨テクノICTメッセ2025」が、11月14日、15日の2日間、アイメッセ山梨にて開催された。本展示会は(一社)山梨県機械電子工業会、(一社)山梨県情報通信業協会などが主催する恒例のイベントであり、本年は「やまなしの熟練技術とICTの最先端 ここから世界へ！！」をテーマに、県内の情報通信・機械電子工業関連企業約80社が出展し、各社の新技術や製品等を紹介した。

(一社)山梨県情報通信業協会(長坂正彦会長／会員69社)のブースでは、ICT相談コーナーが設けられた。ICTとはインターネットなどの情報通信技術を活用し、人と人とのコミュニケーションを可能に



会場の様子

する技術であり、SNSやメールなど日常生活に欠かせないものとなっている。近年はリモートワークの普及に伴い

事業者によるICT活用やツール導入の需要が高まっており、ブースには多くの相談が寄せられていた。また、同ブースにはパズルゲームやレーシングシミュレーターの体験ができるeスポーツ体験コーナーが併設されたほか3Dモデリング作品コンテストが開催されるなど、子どもから大人まで楽しめる企画があり、多くの来場者が賑わっていた。

また展示会の当日は、光信号増幅器(EDFA)の開発功績によりノーベル物理学賞候補として知られる中沢正隆氏(中央市出身)による「グローバルな情報ネットワークを支える～光通信技術の現状と将来展望～」をテーマとした記念講演が開催された。このほか会場では、力覚機能を搭載した世界初の手術支援ロボット「Saroa」の実機展示や、ミリ波を活用した見守りシステム「meowave」など最先端のICT体験コーナー、子どもプログラミング教室・親子ものづくり体験教室など多彩な企画が展開され、商談を目的とした企業関係者に加えてIT技術に関心を寄せる学生や親子連れなど多く訪れ、イベントは盛況のうちに終了した。



中沢 正隆 氏

## 全国の女性経営者との意見交換を通じ ビジネスチャンスにつなげる 令和7年度レディース中央会全国フォーラムinあいちに参加

山梨県中小企業団体中央会女性部会(星ちえ子会長／21会員)は10月29日に愛知県で開催された「令和7年度レディース中央会全国フォーラムinあいち」に参加した。本フォーラムは、全国の女性経営者が一堂に会し、意見交換や討議を通じて女性経営者の資質向上と組合女性部組織の強化を目的として毎年開催されているもので、今回は全国から約200名が参加した。今回のテーマは“Heart of JAPAN”。日本の心臓部ともいえる愛知で、「心がドキドキするような会議にしたい」という思いが込められている。

基調講演では、元参議院議員で現在は藤田医科大学

特命教授を務める大塚耕平氏が「愛知の歴史に学ぶ産業史」をテーマに登壇。歴史や地理の観点から、愛知県における産業発展の歩みを学んだ。

また、全国の女性経営者がつながりを持ち、新たな発見やイノベーションにつなげることを目的に、今回初の試みとして参加者全員によるグループディスカッションが行

われた。「地域の特色ある産業や取組み(お国自慢)～地域や業種の垣根を越えたビジネスマッチングにむけて～」をテーマに、



約10名ずつに分かれて、活発な意見交換が行われた。さらに、全国各地中央会の女性部会が取り組む独自の活動好事例も共有され、研修会や会員交流にとどまらず、他団体との連携や地域貢献活動の実践など、多様な取り組みが紹介された。

星会長は、「さまざまな背景や環境を持つ女性経営者との意見交換を通じ、今後の取り組むべき事業展開に向けた新たな気づきを得ることができた。他女性部会の活動から多くの学びがあり、今後の当会の活動に積極的に活かしていきたい」と参加を振り返り語った。

女性部会では、中小企業経営にかかる女性同士の情報交換や交流を通じて、経営意識の向上とビジネスチャンスの拡大を図るため、研修会・交流会など様々な活動を実施しています。興味のある方は、連携組織課までお問い合わせください。



## 情報BOX2

# 榮 誉

中央会・会員団体関係者



**旭日小綬章 坂本 政彦 氏**

山梨県中小企業団体中央会 元副会長  
山梨県トラック事業協同組合 前理事長

**旭日双光章 坂本 哲司 氏**

山梨県ビルメンテナンス協同組合 元理事長

**黄綬褒章 桑原 誠 氏**

富士・東部建設業協同組合 前理事長

## 県政功績者

**上原 勇七 氏** 山梨県中小企業団体中央会 副会長  
甲府印伝商工業協同組合 理事長  
協同組合ファッショントイ甲府 理事長  
一般財團法人山梨県地場産業センター 理事長

**松本 一雄 氏** 山梨県中小企業団体中央会 前常任理事  
協同組合山梨県ジュエリー協会 前理事長

**瀧田 雅彦 氏** 山梨県中小企業団体中央会 前副会長  
山梨生コンクリート協同組合 理事長  
山梨県生コンクリート工業組合 理事長  
山梨県生コンクリート協同組合連合会 会長

**佐野 龍一 氏** 山梨県中小企業団体中央会 元理事  
山梨県印刷工業組合 元理事長

**末木 泰 氏** 山梨県中小企業団体中央会 前常任理事  
山梨県青果商業協同組合 前理事長

**中込 裕 氏** 協同組合山梨県流通センター 理事長

**渡辺 崇一 氏** 山梨県財形住宅協同組合 理事長

## 情報BOX3

# 山梨県中小企業団体中央会 創立70周年記念式典 ご案内

皆さまのご参加をお待ちしております。

◆日 時 令和8年1月13日(火)  
14:00~

◆場 所 アピオ甲府タワー館  
(中巨摩郡昭和町西条3600)

### ◆内 容

①記念講演 14:00~15:30  
サボイ(タワー館6F)  
・テーマ「どすこいチームマネジメント」  
・講師：田中知子さん(元NHKキャスター)

②記念式典 16:00~17:10  
記念パーティー 17:10~18:40  
光 華(タワー館4F)

◆参加費 5,000円(記念講演のみの出席は無料)

【問い合わせ先】  
山梨県中小企業団体中央会 総務課 ☎055-237-3215

## 情報BOX4

# 中小企業団体中央会

# 職員募集

中央会  
採用情報

check!

会員の皆様へ

ご紹介したい方がいらっしゃいました  
ら、ぜひご連絡ください。



### ＼募集要項 /

①採用予定人数

2 ~ 3名

②契約形態

正職員

③学歴、資格・免許等

- ・4年制大学卒業以上
- ・普通自動車運転免許 (AT 限定可)
- ・基礎的な PC スキル

④選考方法

オンライン面談 → 適性試験／筆記試験  
→ 面接 → 内定

※詳細は中央会 HP

[<https://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>] まで

（採用に関するお問い合わせ）

山梨県中小企業団体中央会 総務課 採用担当 TEL : 055-237-3215

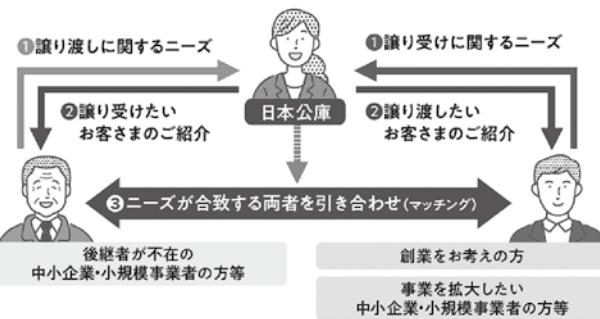
センター名／メール／ホームページ	担当地域	住所／電話／ファックス
甲府市シルバー人材センター e-mail:citykofu@sjc.ne.jp http://yamanashi-kofu-sjc.com/	甲府市	甲府市相生2-17-1 TEL 055-222-9488 FAX 055-222-9490
●大月事務所	大月市	大月市大月町花咲10 TEL 055-22-2900 FAX 055-22-2900
東部広域シルバー人材センター e-mail:y-toubu@sjc.ne.jp http://www.yamanashitoubu-sjc.jp/	都留市	都留市田野倉1330 TEL 0554-45-3500 FAX 0554-45-3500
●上野原事務所	上野原市	上野原市上野原3757 TEL 0554-62-4700 FAX 0554-62-4700
東山梨地区広域 シルバー人材センター e-mail:y-enzan@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/y-enzan/	甲州市	甲州市塩山市上曾1833 TEL 0553-32-4110 FAX 0553-32-4109
●山梨事務所	山梨市	山梨市上神内川134番地 山梨市橋本婦人の家(夢わく山梨2階) TEL 0553-22-4150 FAX 0553-22-4006
富士五湖広域シルバー人材センター e-mail:fsj-east@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/fujigoko/	富士吉田市・西桂町・ 山中湖村・忍野村・ 鳴沢村・富士河口湖町	富士吉田市松山1248 TEL 0555-22-9241 FAX 0555-22-9244
嶺北広域シルバー人材センター e-mail:kyohoku@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/kyohoku/	韮崎市 北杜市	韮崎市中田町中条1795 TEL 0551-25-6300 FAX 0551-25-6301
岐南広域シルバー人材センター e-mail:kyounan@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/kyounan/	市川三郷町 富士川町	南巨摩郡富士川町駒沢655-8 TEL 0556-22-8701 FAX 0556-22-8702
●身延事務所	早川町 身延町 南都町	南巨摩郡身延町梅平2483-36 TEL 0556-62-1165 FAX 0556-62-1572
諫中広域シルバー人材センター e-mail:kyochu@sjc.ne.jp https://www.kyochu-sjc.jp/	甲斐市 中央市 昭和町	甲斐市藤原2644-3 TEL 055-279-6626 FAX 055-279-6620
南アルプス市シルバー人材センター e-mail:m-alppsc@sjc.ne.jp http://www.j-gate.net/m-alppsc/	南アルプス市	南アルプス市飯野2806-1 TEL 055-282-6633 FAX 055-282-6634
笛吹市シルバー人材センター e-mail:east8@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/fuefuki/	笛吹市	笛吹市石和町小石和751 TEL 055-225-6703-6704 FAX 055-262-8702

※丹波山村、小菅村、道志村はシルバー人材センターが未設置です。



## 「託したい」と 「継ぎたい」をつなげる。

後継者がいることなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービス「事業承継マッチング支援」を提供しています。



### 事業承継マッチング支援の5つの特徴

① 小規模事業者の方のご利用が中心	④ 専門担当者によるサポート
② 事業を受け継いで創業される方も対象	⑤ 無料のサービス
③ オープンネーム(実名)による後継者探しも実施	

日本公庫 事業承継マッチング 検索

右側の二次元コードからもご覧いただけます。



甲府支店(国民生活事業)  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-26-2  
Tel:0570-042086 (平日 9:00 ~ 17:00)

皆様のベストパートナーを目指して

**YKS** **山梨県民信用組合**

山梨県甲府市中央4丁目8番2号 ウエスギビル2階  
TEL 055-228-5151

私たち  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

Shinkumi Bank  
信用組合  
しんみ  
ちかくにいるから、  
チカラになれる。